

山県市
まちづくりアンケート調査
(市民・中学生)

概要版

●まちづくり市民アンケート調査

- ・第3次山県市総合計画に先だつ市民意識調査（紙の調査票とWebアンケートの併用）。
- ・18歳以上の市民から2,100人を無作為抽出。

回収数	811票（回収率38.6%）
紙・Web回収数	紙602票（74.2%） Web209票（25.8%）

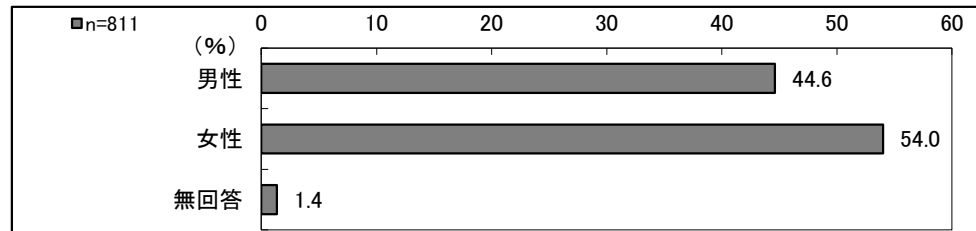
●まちづくり中学生アンケート調査（今回初）

- ・原則、市内612人すべての中学生に調査（ウェブのみ）。

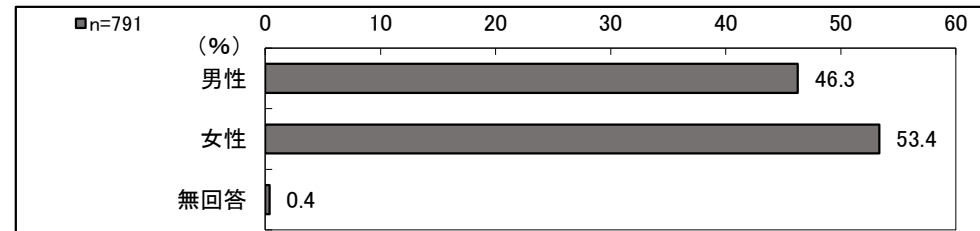
回収数	525票（回収率85.8%。学校内でホームルーム等の時間で行ったため、回収率が高い）
-----	--

まちづくり市民アンケート調査（属性の前回比較）

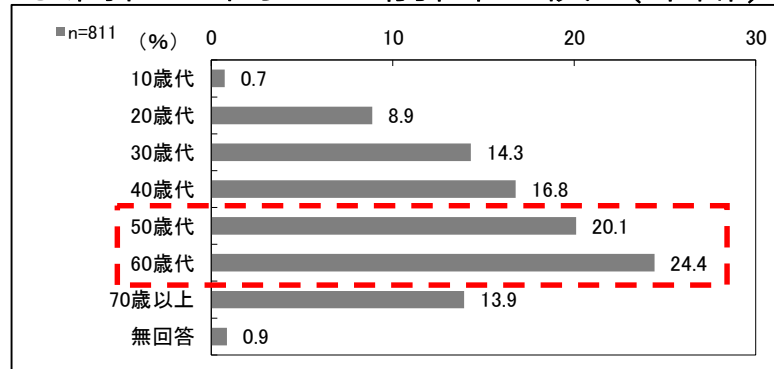
●属性に関する前回比較（性別） 今回調査



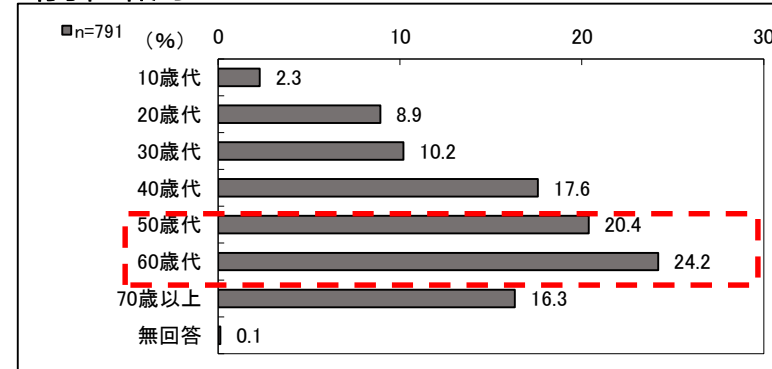
前回調査（平成30年10月）



●属性に関する前回比較（年齢）



前回調査

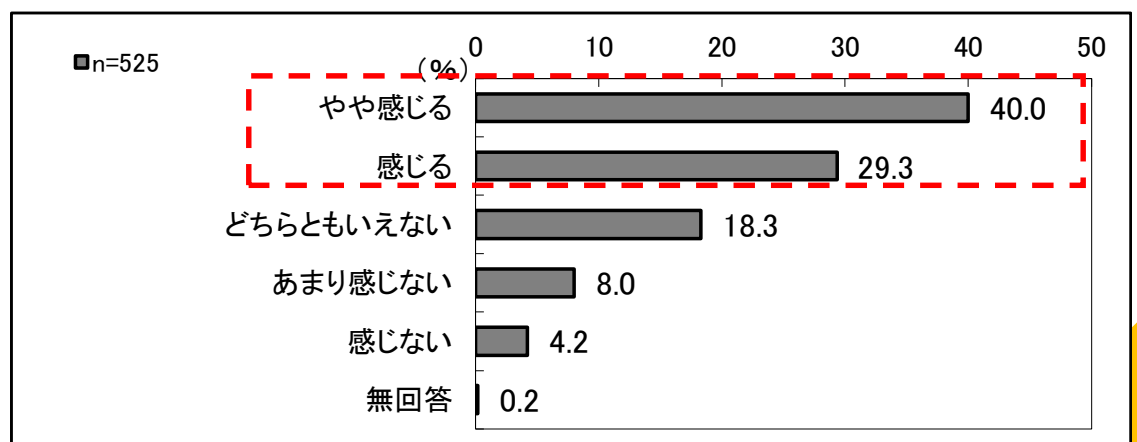
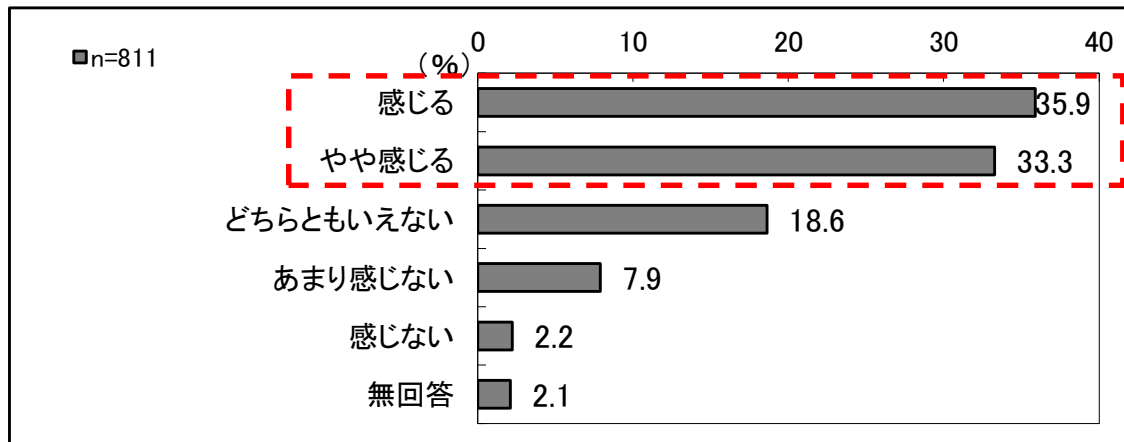


→性別、年齢の構成比は前回と非常に類似している。
50歳代、60歳代が4割以上を占めている。

まちへの愛着度（中学生との比較）

●市民アンケート調査（18歳以上）

●まちづくり中学生アンケート調査

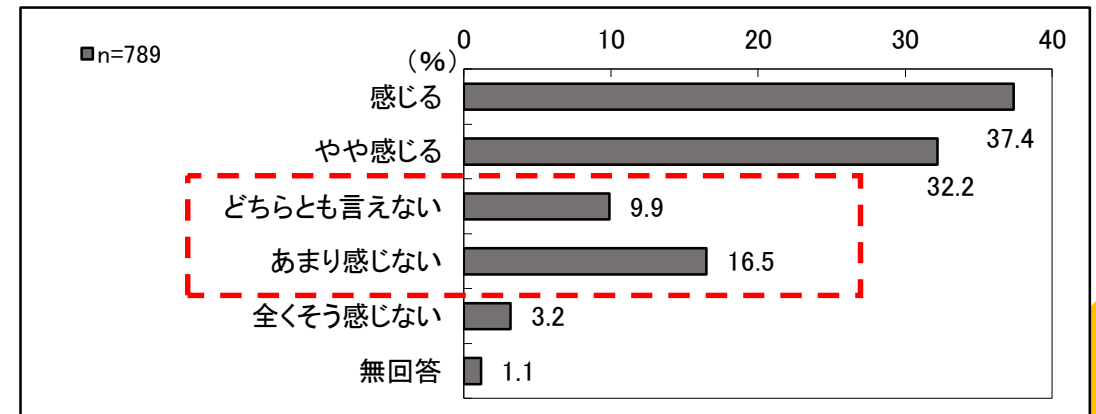
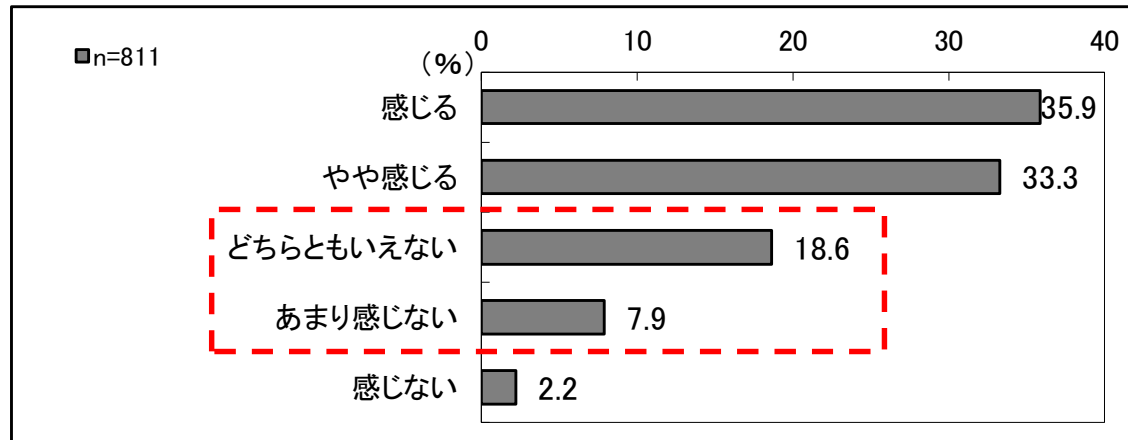


→市民、中学生ともに、7割近くが愛着を感じている。
 （『感じる』『やや感じる』の合計）

まちへの愛着度（前回比較）

●市民アンケート調査（18歳以上）

●前回調査（18歳以上）

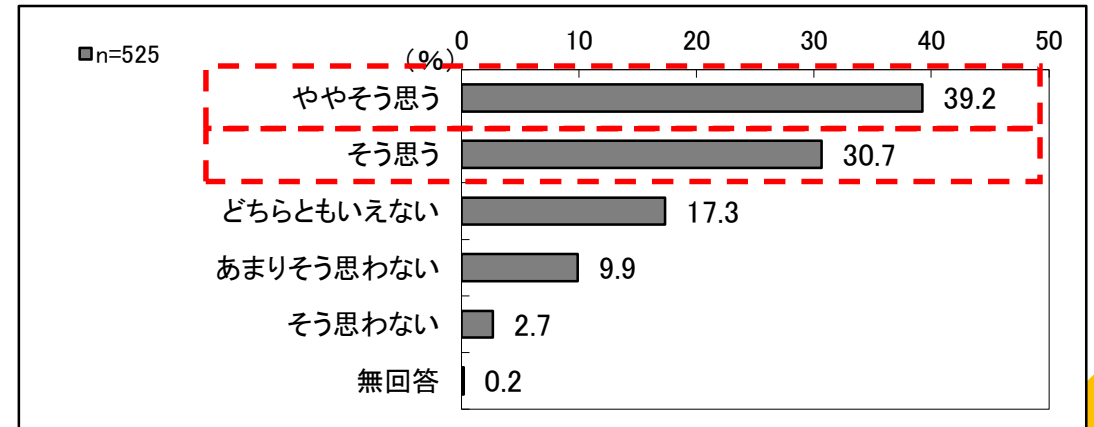
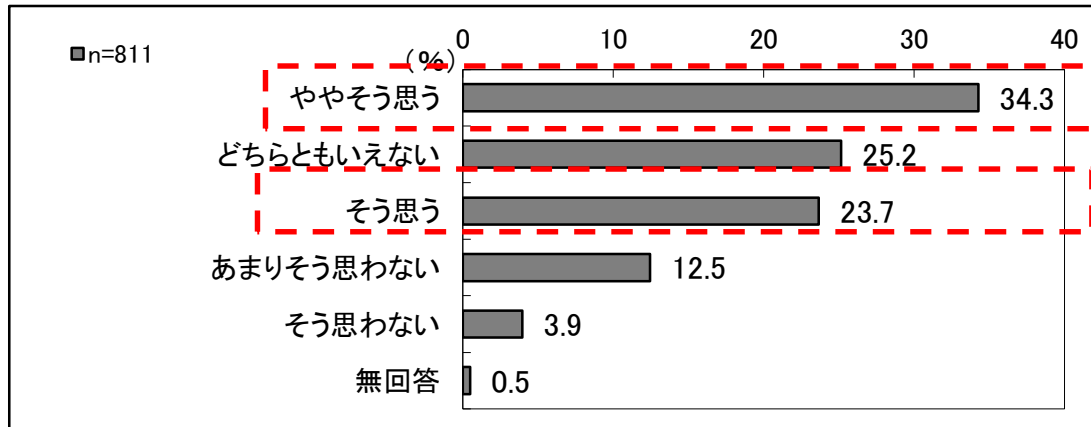


→前回と比較すると「どちらとも言えない」が上昇、一方で「あまり感じない」が低下した。

まちは暮らしやすいか（中学生との比較）

●市民アンケート調査（18歳以上）

●まちづくり中学生アンケート調査

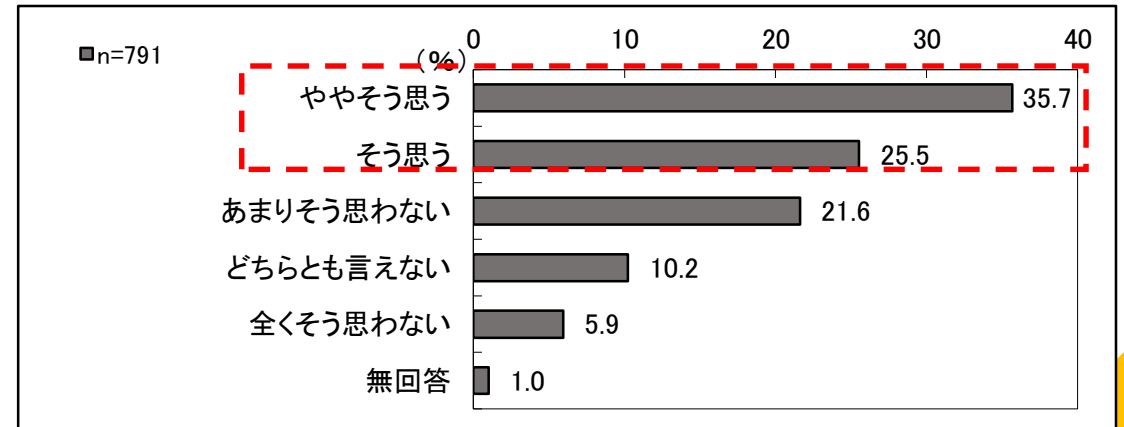
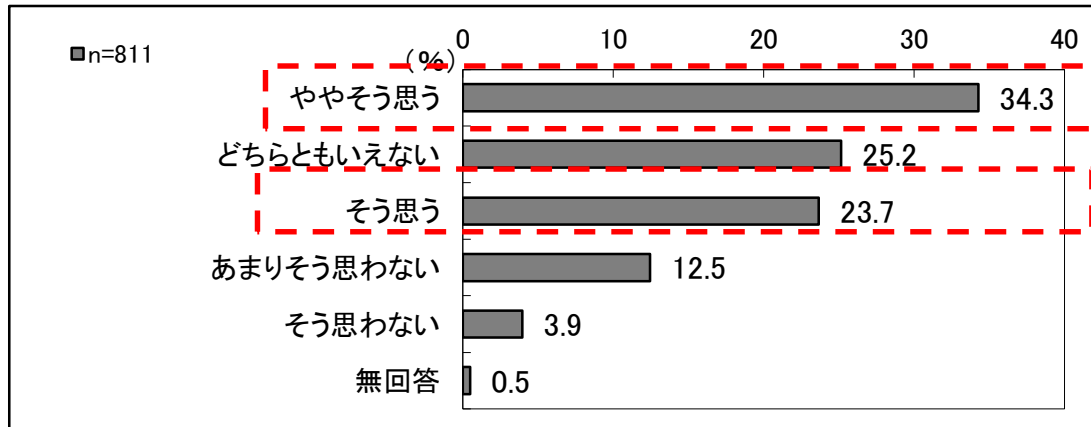


→「そう思う」「ややそう思う」の合計は、市民については58.0%、中学生については69.7%となっており、どちらも「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計を上回っている。

まちは暮らしやすいか（前回比較）

●市民アンケート調査（18歳以上）

●前回調査（18歳以上）

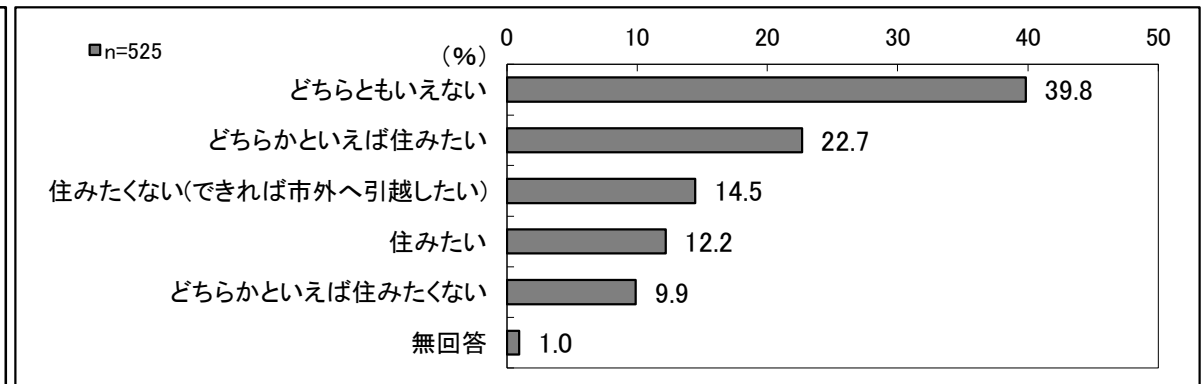
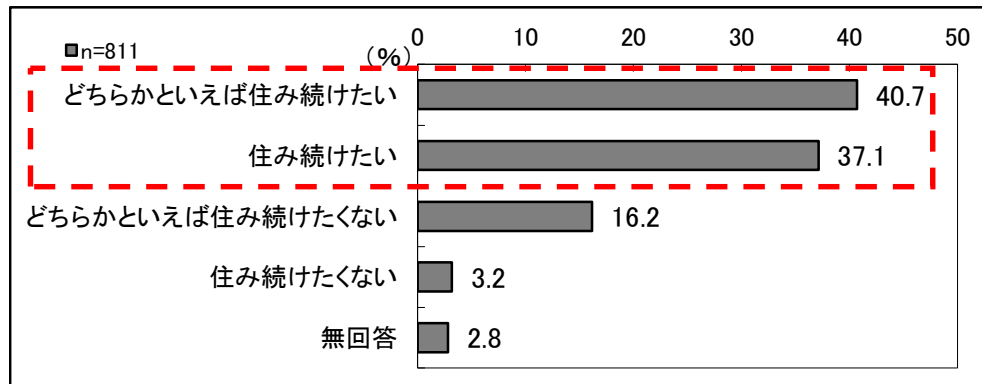


→「そう思う」「ややそう思う」の合計は、
前回調査（61.2%）から今回調査（58.0%）で、やや減少している。

定住意向（中学生との比較）

●市民アンケート調査（18歳以上）

●まちづくり中学生アンケート調査

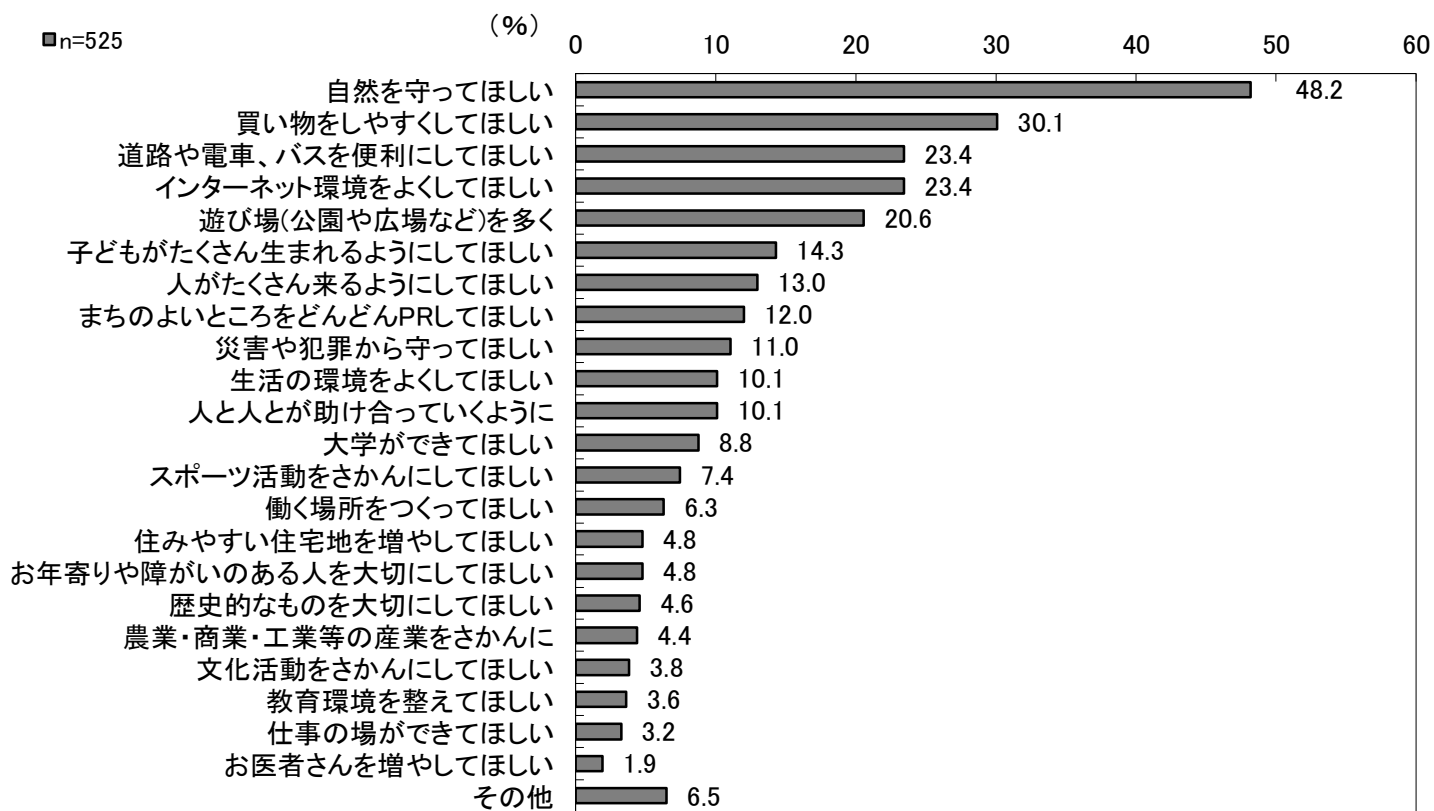


18歳以上市民は 8割弱 が住み続ける意思を持っている。
中学生においては、 「どちらともいえない」 が約4割を
占めトップ。

では中学生が望んでいる今後のまちづくりの力点とは（次頁）

今後のまちづくりの力点（中学生、複数回答可）

●まちづくり中学生アンケート調査



第1位

自然を守ってほしい

(46.2%)

第2位

買い物をしやすくしてほしい (30.1%)

第3位 (同率)

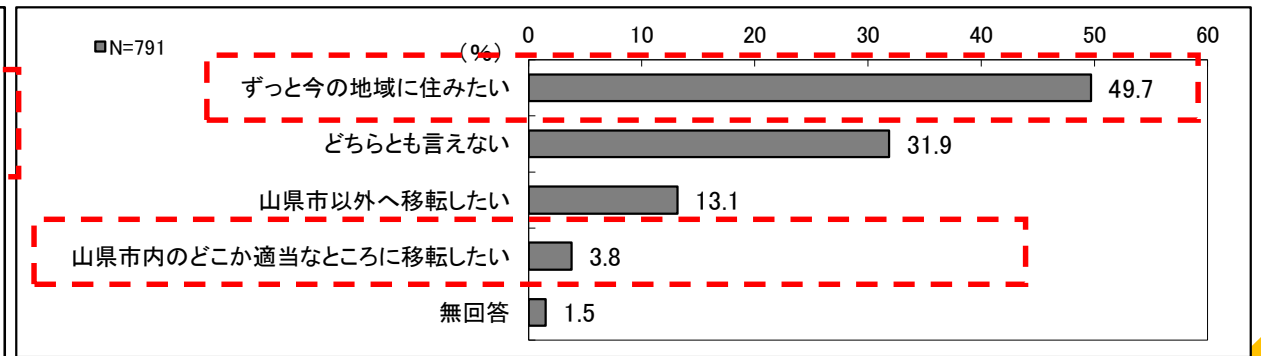
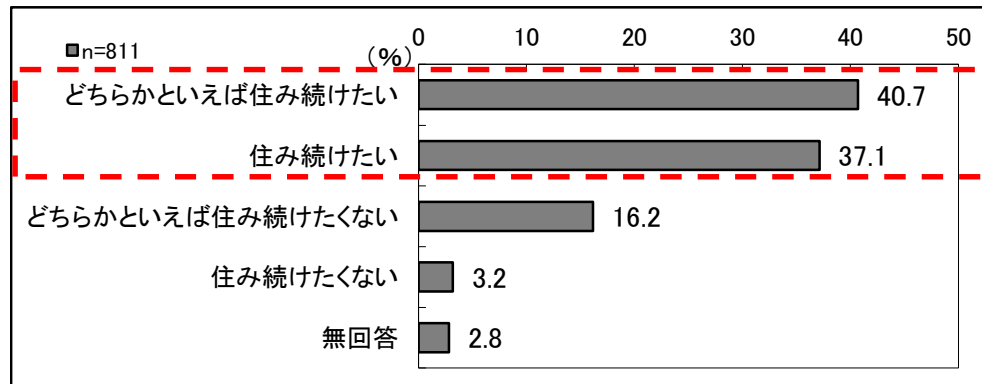
道路や電車、バスを便利にほしい (23.4%)

インターネット環境をよくしてほしい (23.4%)

市内への定住意向（前回比較）

●市民アンケート調査（18歳以上）

●前回調査（18歳以上）

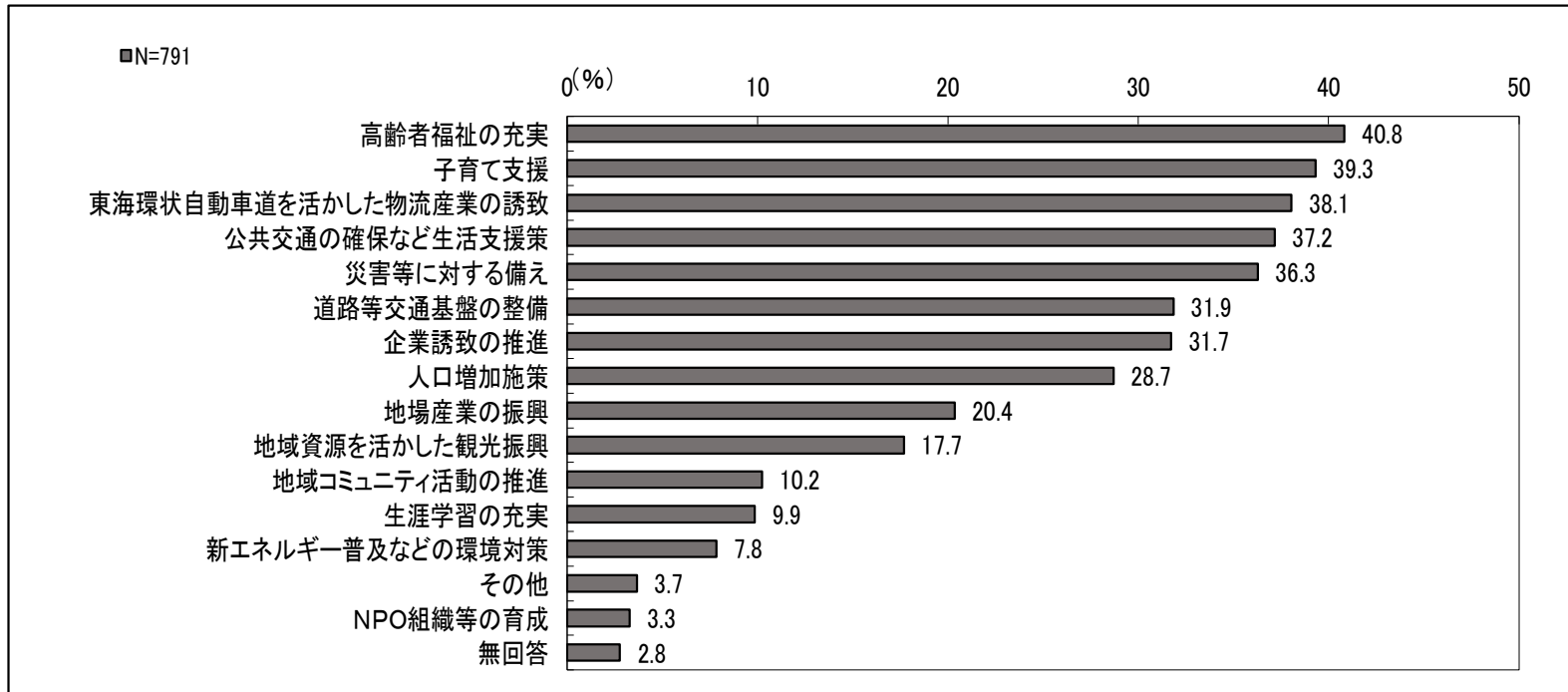


前回から設問に変更のため厳密な比較は困難だが、

前回より市内に住み続けたい住民の割合の多さ（8割弱）が顕在化した。**10**

これからの市が施策の力を入れる施策の希望（18歳以上市民）

●まちづくり市民アンケート調査（前回調査）



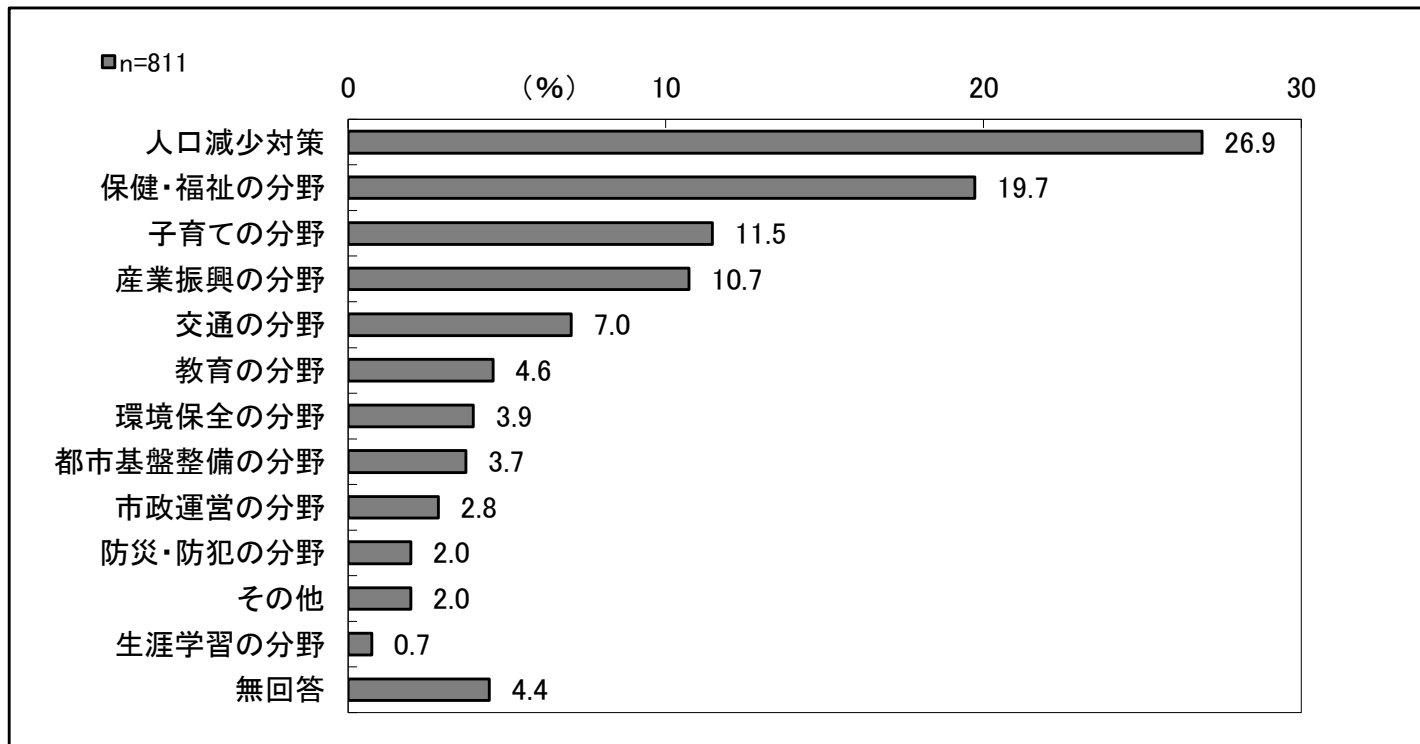
第1位
高齢者福祉の実現
(40.8%)

第2位
子育て支援 (39.3%)

第3位
東海環状自動車道を活かした
物流産業の誘致 (38.1%)

高齢者福祉、子育て支援、東海環状自動車道を活かした物流産業の誘致の3つが拮抗し、いずれも4割程を占めている。

これからの市が施策の重点を置く取り組みの希望（18歳以上市民）
●まちづくり市民アンケート調査（今回調査）



第1位
人口減少対策 (26.9%)

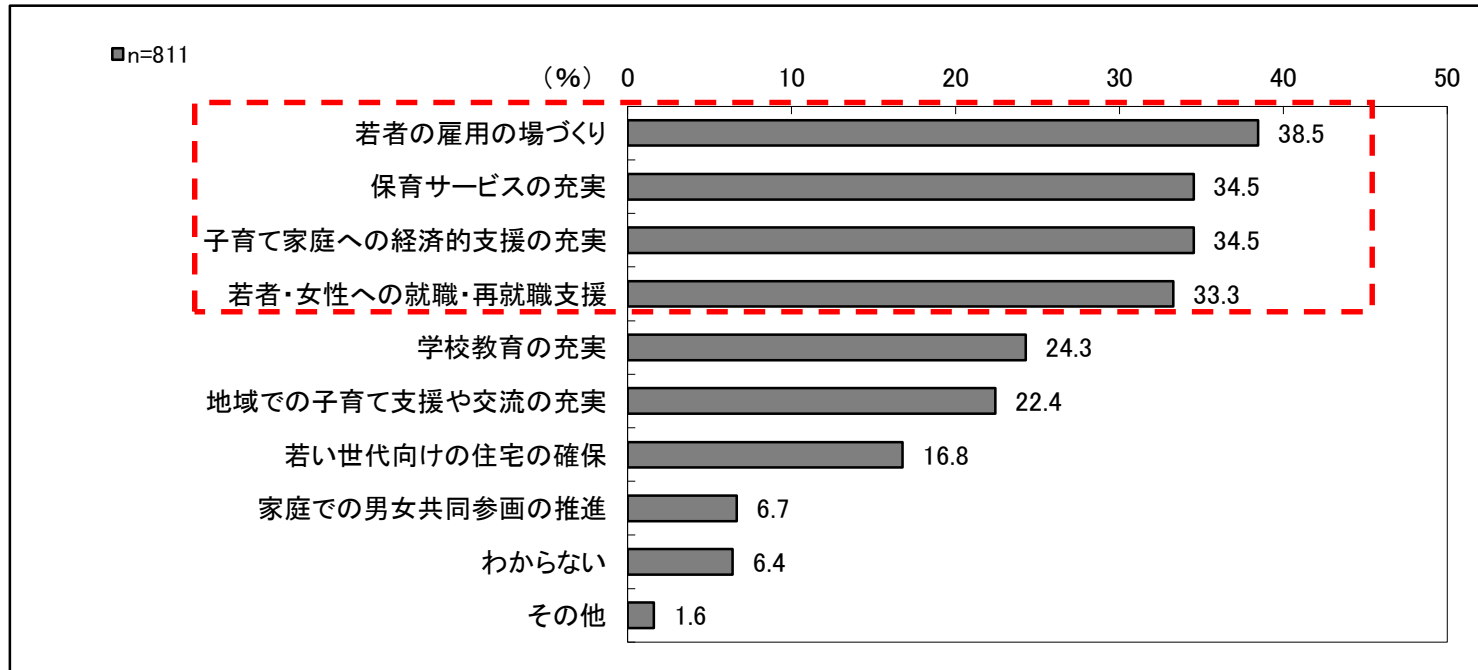
第2位
保健・福祉の分野 (19.7%)

第3位
子育ての分野 (11.5)

第1位人口減少対策、第3位子育ての分野と密接にかかわるものとして「子育てしやすいまちになるための力点」は次頁参照

子育てしやすいまちになるための力点（複数回答可）

●まちづくり市民アンケート調査（18歳以上）



第1位
若者の雇用の場づくり
(38.5%)

第2位（同率で2つ）
保育サービスの充実（34.5%）
子育ての家庭への経済的支援の充実（34.5）

第4位
若者・女性への就職・再就職支援（33.3）

「雇用の場」は子育て世代の若者の働く職場の数の充実や子育てしやすい労働環境等が推測される。全体として4つの項目が3割を超えて拮抗しており、多面的な子育て支援への要求が期待されていることがわかる。